

世界の表現方法の違い～最強のプロポーズを探る～

英語班：江口 凜々花 加藤 清花 楠木 遼太 林 優衣 森山 陽香

要約

本研究の目的は、外国人と日本人の表現方法の違いを明らかにすることである。外国人、日本人それぞれに結婚のプロポーズの言葉は何だったか、というアンケートを行い、その結果から、結婚のプロポーズの場面においては、どちらも直接的な言葉を用いることが分かった。この結果をもとに、本研究ではどの国でも自分の意図を正確に伝えられるようなプロポーズの言葉を考えた。

Abstract

This study investigates the differences of interpersonal expression between foreigners and the Japanese. We asked: “What phrase was spoken when you made or received a marriage proposal?” The interview results show that the use of direct language was most common for both groups.

1. 序論

洋画のスクリーン上の字幕では、そのセリフが直訳されたものとは異なるニュアンスを持った日本語が使われていることがある。このことから、外国人と日本人では、同じ言葉を伝えるにも表現の仕方に違いがあるのではないかと考え、自分の意図を正確に伝えなければならない結婚のプロポーズの場面において両者の違いを比較し、どの国でも伝わるようなプロポーズの言葉を考察することにした。

2. 研究手法

日本人と外国人のプロポーズの仕方の違いについて調べるために、まず以下の仮説を立てた。

- (1) 日本人のプロポーズの言葉はストレートに伝えず、少し遠回しの言い方である。
- (2) 外国人のプロポーズの言葉は日本人とは違ってストレートに伝わる言い方である。

これらの仮説を検証するために、以下の手順で研究をする。

- ① プロポーズの場面に焦点を当てて、既婚者の高津高校の先生方(日本人)と英会話の先生や留学生などの外国人それぞれ10人に「プロポーズの言葉は何ですか。」と質問をする。
- ② 質問の回答を受けて、日本人と外国人それぞれのプロポーズの言葉の特徴を捉えてまとめる。
- ③ 日本人と外国人それぞれのとまとめたプロポーズの言葉の特徴を比べる。

3. 結果

<複数の日本人対象者>

解答例：“結婚して” “ずっと一緒にやっっていこうか”

直接的な言葉でプロポーズをしていたことがわかった。

<その他の日本人対象者>

解答例：“付き合っているときは「絶対」とか「一生」とか約束できないから使わないようにしていたけど、初めてその言葉を使いたいと思いました。結婚してください”、“特に言葉はなかった”

日本人ならではの遠回しな表現を使ったプロポーズをしていたことがわかった。

<外国人対象者>

解答例：“Will you marry me?”、“I love you with all my heart, always and forever. Will you marry me ?”

直接的な言葉でプロポーズをしていたことが分かった。中には、インドでは一般的であるお見合いをしたと答えた対象者もいた。

4. 考察

日本人、外国人ともに結婚を申し込む場面においては、それほど大差なく、ストレートな言葉（愛している、結婚してください）などを使った表現を用いることから、プロポーズの言葉は人種に関係なく、その人の個性によって異なるのではないかと考えられる。

5. 結論

プロポーズの場面においては、外国人だけがストレートな言葉を用いたり、日本人が遠回しな表現を用いたりするわけではなく、どの国も同じであった。

調査から、「一生」、「人生で最後」、などの言葉は効果的である。また、アンケートなどの言葉は効果的である。また、アンケートなどでも多数派であったストレートな言葉を使った表現は用いるべきであると考え。結果から、世界で伝わるプロポーズの一例として、次の言葉を提示する。

“I love you so much that I want to be in love for the last time in my life, Will you marry me?” 「人生で最後の恋にしたいと思うほど、あなたを愛しています。結婚してください。」

6. 参考文献

成功するプロポーズの言葉って？女性が言われて嬉しかったランキング(2018)

<https://wedding.mynavi.jp/contents/press/detail/post-108/>2021年1月25日